

## ESD21 ミャンマーのNGOと提携

# 日本企業の進出サポート

## マッチングや交流会企画

一般社団法人持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（ESD21、事務局名古屋市中区）は、日本企業とのビジネスを支援する、ミャンマーのNGOと提携した。ミャンマーへの進出を検討する中小企業と、現地企業とのビジネスマッチングなどを企画する。国境を越えた中小企業間のビジネスを促進する。

（加納由希絵）

8月下旬にヤンゴン市でNGO「ミャンマー・ジャパン・SEDA（セダ）」と覚書を締結。ビジネスマ



ESD21の黒岩恵会長（左から3人目）とセダのミン・サン会長（同4人目）が覚書を交わした（8月、ヤンゴン市）

験がある経営者や日本企業とのビジネスに関心のある若者ら1500人の会員が所属している。会長は名古屋大大学院出身のミン・サン氏。

ESD21はセダのネットワークを生かし、ミャンマー進出を検討する中小企業に対して、現地企業を紹介。円滑に商談を進められるよう後

ツチングや技術指導などで協力体制を築いた。セダは2012年に設立。日本で留学や勤務の経

験がある経営者や日本企業とのビジネスに関心のある若者ら1500人の会員が所属している。会長は名古屋大大学院出身のミン・サン氏。

押しする。

来年2月には、現地で商談会を開催する。参加者の

験がある経営者や日本企業とのビジネスに関心のある若者ら1500人の会員が所属している。会長は名古屋大大学院出身のミン・サン氏。

き取りを実施。最適な現地企業を紹介し、すぐに具体的な商談に入る。すでに進出しているES

D21の法人会員も強力なパートナーだ。豊田通商の現地法人や産業車両輸出事業などのトレンディ名古屋（本社名古屋）などが、ESD21を通じて進出後の営業支援やITサービスの提供などを行う。

日本では、ミャンマー人の若者と企業の交流会を新たに始める。留学生や中部地方で就職した若者を招き、ミャンマー人の採用を

目指す企業と相互理解を深める。11月に名古屋市内で初開催し、定期的を実施する。

民主化でミャンマー経済への関心が高まっている。ESD21の鈴木明夫顧問・理事は「中小企業が安心してビジネスに集中できるように支援したい」と話す。

ESD21は、トヨタ自動車などのOBを中心として10年に設立。トヨタ生産方式とIT活用を軸に、企業の競争力向上を支援している。12年にミャンマー進出支援活動を始めた。